

令和4年12月

富山市議会定例会

市長提案理由説明要旨

令和4年12月定例市議会の開会に当たり、提出いたしました案件の概要等について申し上げます。

(はじめに)

G7富山・金沢教育大臣会合が、令和5年5月12日から15日までの4日間、前半2日間は富山市、後半2日間は金沢市で開催されることが決定しました。本市でのG7サミット関係閣僚会合の開催は、平成28年の環境大臣会合に続き2度目となり、本市にとりまして大変光栄なことであります。本市の魅力を世界に発信する絶好の機会でもありますので、国や富山、石川の両県、金沢市と連携しながら、会合の成功に向けて準備を進めてまいりたいと考えております。

次に、欧州連合国際都市地域間協力プロジェクトにおけるスペイン訪問について、申し上げます。

今月18日から27日にかけて、欧州連合国際都市地域間協力プロジェクトにおいて本市の連携先であるサン・セバスティアン市をはじめ、バルセロナ市、マドリード市を訪問し、先進的な公共交通やスマートシティ施策について、視察してまいりました。

サン・セバスティアン市では、知見を共有し相互の発展を図るため、持続可能なまちづくりに関する協力確認書を締結したところであり

ます。

また、在スペイン日本国大使館や、日本政府観光局マドリード事務所など様々な関係機関を訪問し、本市の取り組みを紹介するとともに、インバウンドに向けたトップセールスを行い、新たなステークホルダーが構築されたことは、大変有意義であったと考えております。

今回の訪問を踏まえ、今後、サン・セバスティアン市と都市間連携を推進するとともに、先進的な事例については本市の施策に反映することで、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを深化させ、幸せ日本一とやまの実現につなげてまいりたいと考えております。

次に、新型コロナウイルス感染症について申し上げます。

かつてない規模とスピードで感染拡大した「第7波」は、8月下旬をピークに減少傾向に転じ、県においては「富山アラート」を9月27日で解除し、国においても、10月11日から、外国からの入国者数の上限を撤廃するなど水際対策を緩和するとともに、全国旅行支援を開始しました。本市におきましては、3年ぶりに、おわら風の盆や富山まつりが開催され、富山チンドンフェスティバルでは、全国のチンドンマンが、賑やかなパフォーマンスを繰り広げました。引き続き、社会経済活動と感染拡大防止を両立させていく必要があると考えてお

りますが、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が懸念されている中、10月中旬以降、全国的に感染の拡大が続いております。このような状況を受け、県においては、先日「感染注意報」を「感染警報」へ引き上げられたところであり、市民の皆様には、改めて、感染防止対策に取り組んでいただきますようお願いいたします。

(来年度予算編成について)

次に、来年度予算編成について申し上げます。

令和5年度予算については、歳入では、市民税において、給与所得の増加など、また固定資産税において、新增築家屋の件数が堅調に推移していることから、ともに増収が見込まれ、市税全体では、本年度の当初予算を上回るものと見込んでおります。

しかしながら、地方交付税については、減収が見込まれていることなどから、市税等を合わせた一般財源総額について、大きな伸びは期待できないものと考えております。

これに対して、歳出では、公債費が高水準で推移し、扶助費や繰出金等の増加が見込まれます。また、第2次総合計画後期基本計画をはじめ、各種計画に位置づけた事業の着実な進捗はもとより、来年5月のG7富山・金沢教育大臣会合の開催や、再来年の北陸新幹線の敦賀

開業を、大きなチャンスと捉え、本市の魅力を一層高めていく必要があるなど、大きな財政需要が見込まれ、令和5年度は本年度と同様に、極めて厳しい財政状況となることが予想されます。

このため、予算要求の基準は、昨年度と同様に、政策的経費については、一般財源ベースで総合計画に係る事業についてはマイナス10パーセント、総合計画以外の事業についてはマイナス25パーセントと設定したところであります。

一方、私の公約の重要政策テーマの一つであるスマートシティにつきましては、令和5年度予算において特別枠を設け、「富山市スマートシティ推進ビジョン」の実現に資する新規・拡充事業に対して、重点的に予算配分を行ってまいりたいと考えております。

さらには、本市が抱える課題や時代の潮流に対応し、部局からの積極的な事業の提案を促すため、新規事業について「部局主導裁量枠」を設けたところであります。

なお、国においては、先月、総合経済対策をとりまとめ、今月には、第2次補正予算を編成し、国会へ提出されており、国の動向を注視し、予算への反映などの的確に対応してまいりたいと考えております。

今後の予算編成に当たりましては、一般財源の確保に努めるととも

に、聖域なき歳出の抑制を図りながら、限られた財源の重点的・効率的な配分に努め、健全財政を堅持しながら、市民一人ひとりが誇りと希望を持てる予算となるよう、取り組んでまいりたいと考えております。

(提出案件について)

次に、提出いたしました案件について、その概要を申し上げます。

(1 予算案件について)

予算案件については、原油価格・物価高騰対策及び新型コロナウイルス感染症に関連する経費や、G7 富山・金沢教育大臣会合開催に係る経費などの補正を行うものであり、一般会計では 27 億 700 万余円を追加するものであります。また、駐車場事業などの特別会計では、13 億 7,900 万余円、企業会計である病院事業会計では 5,900 万余円を追加するものであります。

次に、歳出予算の主な内容について申し上げます。

(① 原油価格・物価高騰対策及び新型コロナウイルス感染症関連)

まず、原油価格・物価高騰対策として、高騰の影響を受けた介護・

障害福祉サービス事業所、保育施設をはじめ、貨物運送事業者や農林水産業、地域公共交通への支援に要する経費、新型コロナウイルス感染症に関連する経費につきましては、第7波を受け、不足が見込まれる入院費用や検査費用の公費負担分に係る扶助費などを計上しております。

(② G7 富山・金沢教育大臣会合開催に係るもの)

次に、G7 富山・金沢教育大臣会合開催に係る経費につきましては、実行委員会への負担金などを計上しております。

(③ その他の事業)

その他の事業といたしましては、ふるさと納税の寄附金額の増加に対応するための事務費及び基金積立金、生活保護事業費、総合体育館の運営に係る民間事業化の検討に要する経費などを計上しております。

(④ 特別会計・企業会計)

特別会計では、駐車場事業特別会計、牛岳温泉健康センター事業特別会計、農業集落排水事業特別会計において、不足する光熱水費など、国民健康保険事業特別会計において、不足が見込まれる傷病手当金負

担金など、企業団地造成事業特別会計において、土地売払いに伴う長期償還元金、牛岳温泉スキー場事業特別会計において、人工造雪プラントの修繕に要する経費、公設地方卸売市場事業特別会計において、再整備を行う市場施設の借上げ料の追加経費など、賃貸住宅・店舗事業特別会計において、奥田団地の店舗移転補償費、病院事業会計において、新型コロナウイルス患者病棟用の生体情報モニタ購入費などを計上しております。

(⑤ 人件費)

また、人件費については、一般会計及び特別会計において所要の補正を行うものであります。

以上が歳出のあらましですが、これらに要する財源としては、一般会計では、市税や、事業に伴う国・県支出金、地方債及び繰越金などを充てております。また、特別会計では、財産収入や、一般会計からの繰入金などを充てております。

次に、債務負担行為について申し上げます。

一般会計及び水道事業会計においては、公共事業の円滑かつ効率的な執行を図り、事業の平準化を推進するため、令和5年度施工予定工

事を前倒し発注するための限度額を設定するものなどであります。

(2 その他の案件)

次に、予算以外の案件について申し上げます。

まず、条例案件については、「富山市職員の給与に関する条例及び富山市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例」を制定するものなど13件であります。

契約案件については、西部中学校校舎改築（その2）主体工事の請負契約を締結するもの1件であります。

その他の案件については、土地処分の件など2件であります。

承認案件については、専決処分について承認を求めるもの1件であります。

報告案件については、工事請負変更契約締結の件などの専決処分について報告するもの3件であります。

以上が、今回提出いたしました案件の概要であります。ご審議の上、議決を賜りますよう、お願い申し上げます。